

ワークショップの活動内容

水質浄化対策等プロジェクト

各プロジェクトの活動



報告会とまとめ

今年度のワークショップでは、各プロジェクトの「配布用の広報紙」の案ができました。これからも、修正が必要ですが、大きな一步です！

発表

次年度の活動の提案

水質調査の継続調査、広報紙配布後の状況確認。
水質浄化の視察を開催したい。

- ・水戸の千波湖の水質浄化活動
- ・霞ヶ浦
- ・伊豆沼、
- ・北上川下流のアシの活用等
- 山の手入れの勉強会、出前講座の開催。
- パンフレットの配布を行う。

(3月12日に配布予定)

桜などの樹木管理のワークショップを開催。
山の手入れを行う。

散策ルート等整備プロジェクト



理解

ネットワークづくりプロジェクト



共有

次年度へ
展開

パンフレット、マップの作成
案内板、駐車場の整備、散策路の草刈りを実施。
木を守る専門家の出前講座の開催
史跡名勝の専門家の出前講座の開催
遊歩道をはっきりとさせたい。
秋のもみじの頃に南湖まつりを開催したい。
道路の改修が必要なところがある。
松の根を守るための舗装の研究
今までのワークショップの成果を発表したい。
観光案内所、駅、翠楽苑の協力
公園サミットなどのイベントの開催

南湖を知るための出前講座の開催(歴史、17景等)
桜祭り、もみじ祭り、昔話の会、バザーの開催
水質浄化の先進地への視察(水戸、霞ヶ浦等)
お茶文化、公園文化を生かし、年1回の南湖まつり、公園サミットを行う。(マスコットなどの作成)
浴衣、着物を着る日をつくる。
灯篭流しをもりあげていく。
市民活動の核をつくりたい。
拠点づくりの可能性を考える。
・ワゴン車、屋台、お店を情報拠点へ
・使える場所を探してみよう。

ワークショップに参加した感想

ワークショップの成果

- ・具体的に成果が見えるようになった。
- ・活動や討議が活発になってきた。
- ・他団体を知り、活動のきっかけができた。

参加者の意欲

- ・積極的で熱心な討議に感心した。
- ・最初から参加したかった。
- ・今後も参加したい。

ワークショップの良かった点

- ・回を重ねるごとに参加者が増えてきた。
- ・翠楽苑で行ったこと。
- ・意見・知識の交換の場となった。

ワークショップの悪かった点

- ・実行性が足りない。
- ・時間が足りない。
- ・人数が多くなり、発言が聞き取りにくかった。

今年度のワークショップの感想

これからの展開に期待すること

様々な活動の継続

- ・ワークショップ。
- ・水質浄化活動、水質調査。
- ・広報紙等の作成・修正・配布等。

具体的な展開が必要

- ・少しでも南湖が良くなるような活動を展開。
- ・参加者のネットワークを広げイベントを開催。
- ・広報紙は完成版を待つのではなく、現行のものを配布する等。

市民の活動の展開

- ・一人一人の意識改革・向上。
- ・市民の主体的な活動の継続。
- ・地元住民のリーダーシップの発揮。

イベントの開催

- ・南湖まつりができたらしい。
- ・環境保全等のエコ的な配慮もイベントに必要。

等々

スペースの都合上、振り返りシートの結果を統括・意訳しておりますが、ご了承願います。